

令和3年度(2021年度)

管理事業名	スポーツ推進事業			総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 3	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 地域におけるスポーツ振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 32 スポーツ推進費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
スポーツ推進事業						
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 健康寿命を延ばすため、地域における生涯スポーツの普及・促進に努めるとともに、スポーツに親しめる機会の充実や環境づくりを進めます。 <b>【概要】</b> ・生涯スポーツ促進事業(スポーツ大会・教室等実施・地域スポーツ促進等) ・学校体育施設開放事業(学校体育施設開放・中学校運動場ナイター施設開放等) ・スポーツ関係育成事業(社会体育関係団体育成・地域スポーツ指導者及び競技スポーツ指導者の養成・研修等)						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
スポーツ推進事業参加者等の総数	人	569,479	281,644	271,058	生涯スポーツ促進事業、学校体育施設開放事業、スポーツ関係育成事業(地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者認定者数は除く)
地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者の認定者数	人	32	0	95	地域スポーツ指導者・競技スポーツ指導者養成講座修了後の認定者数
成果の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、市長杯(旗)体育大会や学校体育施設開放事業が一部中止となり、各地区市民体育祭においても全地区中止となったため、スポーツ推進事業参加者数が減少しました。 スポーツ指導者に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で吹田市社会体育リーダー養成講座(地域スポーツ指導者)が令和2年度に引き続き中止となりましたが、令和3年度は新たにノルディックウォーキング指導者研修会を開催し、46人を指導者として認定することができました。また、公認スポーツ指導者養成講座(競技スポーツ指導者)を開催し、49人を指導者として認定することができました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	2,321	1,296	1,174	△122
国庫支出金(経常費用充当)	495	-	122	122
府支出金(経常費用充当)	248	-	61	61
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	7,268	36	△7,232
経常収入 小計(a)	3,064	8,564	1,393	△7,171
給与関係費	65,508	69,280	67,828	△1,452
物件費	62,054	39,544	44,452	4,908
維持補修費	646	13,051	739	△12,312
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	16,554	1,201	1,248	47
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	164	135	121	△14
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,480	4,651	3,651	△1,000
退職手当引当金繰入額	△15,452	2,058	△2,592	△4,650
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	133,953	129,920	115,446	△14,474
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△130,889	△121,356	△114,053	7,303
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△130,889	△121,356	△114,053	7,303
一般財源充当額	152,004	123,251	120,686	△2,565
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	21,115	1,895	6,633	4,739

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	市長杯(旗)大会等実施委託料 3,394千円の増
維持補修費	令和2年度中学校運動場ナイター照明LED更新工事11,913千円による減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,064	8,564	1,393	△7,171
行政サービス活動支出	155,067	131,815	122,079	△9,735
行政サービス活動収支差額	△152,004	△123,251	△120,686	2,565
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△152,004	△123,251	△120,686	2,565
一般財源充当額	152,004	123,251	120,686	△2,565
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
行政サービス活動収入	令和2年度 中学校運動場ナイター照明LED更新工事によるスポーツ振興くじ助成金7,187千円による減

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
スポーツ推進事業 1人あたりのコスト	令和元年度	569,479 人	235 円	令和2年度と比較し、スポーツ推進事業参加者は減少しましたが、経常費用も減少したため、参加者1人あたりのコストが36円減少しました。
	令和2年度	281,644 人	461 円	
	令和3年度	271,058 人	425 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債		4,651	3,651	△1,000
	未収金	-	-	-	地方債		-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金		-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金		4,651	3,651	△1,000
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金		-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務		-	-	-
					その他流動負債		-	-	-
事業用資産	有形固定資産	315,093	314,972	△121	固定負債		43,257	37,503	△5,754
	土地	314,372	314,372	-	地方債		-	-	-
	建物・工作物	721	600	△121	長期借入金		-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金		43,257	37,503	△5,754
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務		-	-	-
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債		-	-	-
					負債の部合計		47,908	41,154	△6,754
固定資産	インフラ資産	-	-	-	純資産		267,185	273,818	6,633
	有形固定資産	-	-	-					
	土地	-	-	-					
	建物・工作物	-	-	-					
	建設仮勘定	-	-	-					
	重要物品	-	-	-					
	図書館資料	-	-	-					
	投資その他の資産	-	-	-					
	出資金	-	-	-					
	長期貸付金	-	-	-					
	基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計		267,185	273,818	6,633	
その他債権	-	-	-						
資産の部合計	315,093	314,972	△121	負債及び純資産の部合計		315,093	314,972	△121	

Ⅲ 財務構造分析

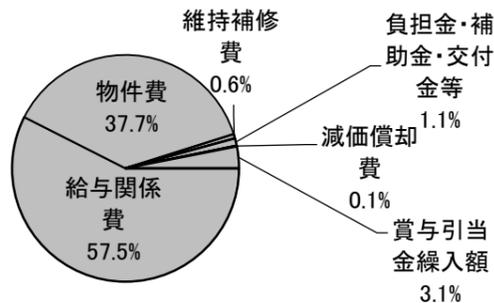
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	6.47人	1163日	30日	
給与関係費等	47,876千円	16,518千円	4,493千円	68,887
内、時間外勤務手当	749千円			

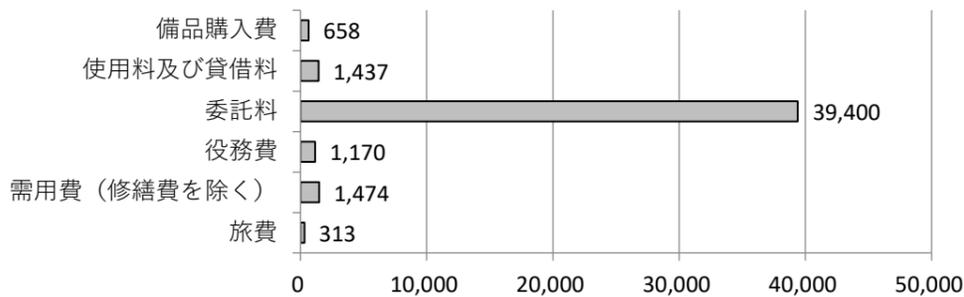
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	中学校運動場ナイター照明設備の減価償却による121千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	第五中学校(ナイター施設)照明設備他6校
取得年月日	昭和58年6月
建物・工作物の取得価額	31,610千円
建物・工作物の減価償却累計額	31,010千円
利用料金収入	1,174千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率		2.0	41.3	2.3	△39.0
施設老朽化比率		97.3	97.7	98.1	0.4
受益者負担比率		1.7	1.0	1.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.0	93.5	98.9	5.4
経常費用対公共資産比率		423.8	411.0	365.2	△45.8

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用のうち、物件費が37.7%、給与関係費が57.5%を占めています。  
物件費のうち、委託料が88.6%を占めています。  
新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯スポーツ促進事業のうち、市長杯(旗)体育大会(74大会中51大会)、各地区市民体育祭(全地区)、障がい者体育祭等が中止となり、学校体育施設開放事業においては、おおよそ4か月から5か月の間、中止となりました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市民の健康寿命延伸に向け、幅広くスポーツに親しむ機会を提供するため、多くのスポーツ関連業務を地域スポーツ団体へ委託し、実施していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業の中止等、多大な影響を受けました。今後は、場所の提供だけでなく、個人でできるウォーキングやトレーニング等、日常生活に気軽に運動を取り入れてもらえるよう、広く情報を発信していくことが課題となります。  
また、地域スポーツを促進していくためには、減少傾向にある地域スポーツ団体のスポーツ指導員やスポーツボランティアの養成・育成が課題となります。